

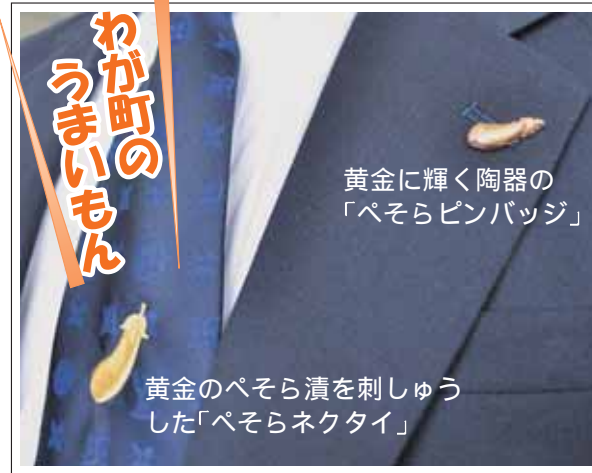


「パパはやいよー」親子で賑わう里山スキー場

第4回定例会  
12/3~6

- 求められる**実行力!** 町長に提言書を提出 ..... P3
- 複合施設は**28年度完成を目指す** ..... P4
- 町の考えを問う **6議員が一般質問** ..... P7
- 激論に**ドキドキ!** 大石田小6年生 議会傍聴 ..... P14
- わが町の**旨いもん** ..... P16

## 大石田町発祥 黄金のペそら漬



わが町の  
うまいもん

黄金に輝く陶器の  
「ペそらピンバッジ」

黄金のペそら漬を刺しゅう  
した「ペそらネクタイ」

「大石田町発祥のペそら漬を町内外にアピールして、町の活性化につなげていきたい」との思いから、黄金のペそら漬を刺しゅうしたネクタイをしめ12月定例会に臨みました。また、次年子寮旧次年子小の高橋廣道さんに依頼して、陶器のペそら漬ピンバッジも作成しました。今後は議場外で活動するときも着用して、どんどん大石田町のペそら漬をアピールしていきます。

### ～ペそら漬の由来～

#### その1

昔、怠け者のお嫁さんがいて、採ってきたナスをすぐには漬けずに桶の水の中に放り込んでおいた。数日して桶を見てみるとナスの色が落ちて白っぽくなっている。そのまま唐辛子と塩で漬けてみると、とても個性のある漬け物になった。

#### その2

舟運の舟に積んだナスが、最上川の水をかぶって色落ちてきた。

#### その3

横山はかつて舟運で生活を営む人が多かったが、夏の漬け物の材料はナスしかなく、普通の漬け方では保存できない。そこで唐辛子と塩を使って船中食としたものが、やがて大石田一円から尾花沢にまで広まっていった。

#### その4

最上川が氾濫し、大量の水をかぶって色が抜けてしまったナスを捨てるのはもったいないと、唐辛子などを入れて漬けた。

## 議会を傍聴 しませんか

◆次の定例会は

**3月 4日(月)**

**3月 13日(水)**

までの予定です。

お気軽においでください。  
(議場は役場3階です)

お問い合わせ先

大石田町議会事務局  
電話 35-2111(内線312) FAX 35-2118

## 大石田町議会基本条例(素案)に関する ご意見をお寄せください

この度、町議会では議会改革のひとつとして、議会の最高規範となる「大石田町議会基本条例」の制定を目指し、素案をまとめました。条例の制定にあたり、町民の皆様のご意見をお寄せいただきたいと考えております。

詳しくは、町ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

◆お問い合わせ先

大石田町議会事務局(役場3階)

TEL: 0237-35-2111(内線 311・312)

FAX: 0237-35-2118

E-mail: gikai@town.oishida.yamagata.jp

- 委員長 遠藤 宏司
- 副委員長 村形 昌一
- 委員 村岡 藤弥
- 委員 芳賀 藤弥
- 委員 星川 久清

あけましておめでとう  
ございます。町民の皆様  
が幸福な年でありますよ  
うお祈り申し上げます。  
当町らしく避けて通れな  
い冬到来です。昨年の冬  
は、町観測史上最高の大  
雪に見舞われました。今  
年も大雪が懸念されると  
ころです。町民一人ひと  
りが相手を思い、優しい  
心、笑顔、感謝の心を忘  
れず、助け合って冬を乗  
り越えていきましょう。  
議会としても町民の声  
を反映し、安全・安心の  
住み良い明るい町づくりに  
努力致します。寒い冬  
に向かいますが健康に留  
意してお過ごしください。  
皆様のご意見をお待ち  
しています。(記 星川)

編集後記